

第13期（2026年3月期）決算公告

2026年6月24日

東京都品川区西品川一丁目 1 番 1 号

住友不動産大崎ガーデンタワー

セガサミークリエイション株式会社

代表取締役社長 亀田 直樹

貸借対照表

〔2026年3月31日現在〕

(単位：百万円)

科 目	金 額	科 目	金 額
(資産の部)		(負債の部)	
流動資産	37,888	流動負債	13,681
現金及び預金	1,089	買掛金	774
売掛金	2,324	関係会社短期借入金	11,494
製品	67	未払金	229
原材料	1,317	未払費用	402
仕掛品	1,448	未払法人税等	506
前渡金	54	預り金	11
前払費用	218	賞与引当金	262
関係会社短期貸付金	23,559	固定負債	185
未収入金	65	退職給付引当金	185
未収消費税等	83		
関係会社預け金	7,196		
その他の	572		
貸倒引当金	△ 109	負債合計	13,867
固定資産	62,185	(純資産の部)	
投資その他の資産	62,185	株主資本	86,207
関係会社株式	61,630	資本金	10
敷金保証金	34	資本剰余金	96,997
繰延税金資産	521	資本準備金	10
		その他資本剰余金	96,987
		利益剰余金	△ 10,800
		その他利益剰余金	△ 10,800
		繰越利益剰余金	△ 10,800
		純資産合計	86,207
資産合計	100,074	負債及び純資産合計	100,074

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

個 別 注 記 表

1. 重要な会計方針に係る事項に関する注記

(1) 資産の評価基準および評価方法

- ① 有価証券の評価基準及び関連会社株式
子会社株式及び関連会社株式

移動平均法による原価法を採用しております。

- ② 棚卸資産の評価基準及び評価方法

移動平均法による原価法（収益性の低下による簿価切下げの方法）を採用しております。

(2) 固定資産の減価償却の方法

- ① 有形固定資産（リース資産を除く）

主に定額法を採用しております。

- ② 無形固定資産（リース資産を除く）

定額法を採用しております。なお、自社利用のソフトウェアについては、社内における利用可能期間（5年以内）に基づく定額法によっております。

(3) 引当金の計上基準

- ① 貸倒引当金

債権の貸倒れによる損失に備えるため、一般債権については貸倒実績率により、貸倒懸念債権等特定の債権については個別に債権の回収可能性を考慮した所要額を計上しております。

- ② 賞与引当金

従業員に対する賞与の支給に充てるため、支給見込額のうち、当期業績年度における負担分を計上しております。

- ③ 退職給付引当金

従業員への退職給付に備えるため、当事業年度末日における退職給付債務の見込額に基づき、当事業年度末日において発生していると認められる額を計上しております。

(4) その他計算書類の作成のための基本となる重要な事項

グループ通算制度の適用

セガサミーホールディングス株式会社を通算親法人としたグループ通算制度を適用しております。

2. 株主資本等変動計算書に関する注記

(1) 当事業年度末における発行済株式の種類及び総数

株式の種類	当事業年度 期首株式数	増加	減少	当事業年度 期末株式数
普通株式	1,000 株	—	—	1,000 株

3. 企業結合に関する注記

共通支配下の取引等

当社は、2025年6月1日付で、セガサミーホールディングス株式会社を分割会社、当社を承継会社とする吸収分割を実施いたしました。

本取引は、「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 2019年1月16日）及び「企業結合会計基準及び事業分離等会計基準に関する適用指針」（企業会計基準適用指針第10号 2019年1月16日）に基づく共通支配下の取引に該当するため、承継される資産及び負債は帳簿価額により引き継いでおります。

4. その他の注記

その他重要な事項

① GAN Limited の買収

当社は2025年5月27日にGAN Limitedの株式を取得し、同社を子会社といたしました。

本取引については、「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号）に基づき、適切に会計処理を行っております。

② Stakelogic B.V の買収

当社は2025年4月28日にStakelogic B.V.の株式を取得し、同社を子会社といたしました。

本取引については、「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号）に基づき、適切に会計処理を行っております。

③ 子会社に対するデット・エクイティ・スワップの実施

当社は、子会社であるStakelogic B.V.の財務内容の改善を目的として、当社の同社に対する貸付金を現物出資とするデット・エクイティ・スワップを実施いたしました。

当該取引は資本取引として会計処理しております。